

令和7年度 板橋グリーンカレッジ大学院

文化文学コース 年間予定表

1 テーマ:

「遺跡から日本の古代をさぐる」

現在、日本のどこを旅しても原始・古代の遺跡があり、各地で個性豊かな文化が栄えていたことが知られます。文化財を展示した博物館・資料館も設置され、youtube にも動画が紹介されているので、さまざまな手段で学ぶことができます。そこでこのゼミナールでは、考古学の研究方法にしたがい、遺跡と遺物から日本の各地で栄えた古代文化について調べてみたいと思います。

2 日 時:

原則として、各回 水曜日 10時から11時30分 まで

※最終回 10時から12時まで

3 場 所:

グリーンカレッジホール(志村3-32-6)3階 教室2 ほか

4 講 師:

大正大学 文学部 歴史学科 教授 つかだ よしみち 塚田 良道 先生

5 日程・内容

① 5月14日	オリエンテーション	オリエンテーション 全体の説明／受講者全員の自己紹介／アンケート調査
② 5月21日	フィールドワーク	見学先：東京国立博物館と上野公園 博物館と公園内の遺跡を歩き、考古学の研究方法を学びます。
③ 6月11日	講義①	講義テーマ：列島の古代文化① アンケートを踏まえ、旧石器～奈良時代までの研究テーマを3回講義します。
④ 6月25日	講義②	講義テーマ：列島の古代文化② 〃
⑤ 7月2日	講義③	講義テーマ：列島の古代文化③ 〃
⑥ 7月16日	講義④	講義テーマ：研究課題の設定 各自の研究課題とグループを決め、夏休みの調査についてアドバイスします。
⑦ 9月17日	研究・学習①	研究指導：研究のまとめ方 夏休みの調査を踏まえて、研究テーマのまとめ方についてアドバイスします。
⑧ 10月15日	研究・学習②	個人研究・グループ研究の中間報告会① 個人・グループごとに、これまでの調査成果の中間報告をしてもらいます。
⑨ 10月29日	研究・学習③	個人研究・グループ研究の中間報告会② 〃
⑩ 11月12日	研究・学習④	個人研究・グループ研究の中間報告会③ 中間報告会の結果を踏まえて、この日に研究発表会のレジュメを提出。
⑪ 11月26日	フィールドワーク	見学先：都内博物館（検討中）
⑫ 12月17日	リハーサル	卒業研究発表会の練習 卒業研究発表会のリハーサルと補足講義
⑬ 1月14日	卒業研究発表会	卒業研究発表会 グループごとの成果発表と講師による講評・卒業レポート提出

※やむを得ない事情等により、予定表の日程・内容の一部を変更することがあります。

令和7年度 板橋グリーンカレッジ大学院

社会生活コース 年間予定表

1 テーマ:

「わが国の食を取り巻く環境」

わが国の食料自給率は、38%と低い状態にあります。一方、地球規模で見る食料供給は、人口増加、気候変動、感染症の拡大、国際情勢の不安定化、食品ロスなど大きな課題を抱えています。食料を輸入に依存するわが国では、円安も影響して食料価格が高騰しています。わが国にとって食を取り巻く環境は厳しいものがあります。私たちは真剣に持続可能な食を考える必要があります。

2 日 時:

原則として、各回 月曜日 10時から11時30分 まで

※最終回 10時から12時まで

3 場 所:

グリーンカレッジホール(志村3-32-6)3階 教室2 ほか

4 講 師:

東洋大学 名誉教授 おおくま ひろかず 大熊 廣一 先生

5 日程・内容

① 5月12日	オリエンテーション	オリエンテーション 全体の説明／受講者全員の自己紹介
② 5月26日	講義①	講義テーマ：いのちの食べかたを考えよう 生きものが食べもの変わる
③ 6月9日	講義②	講義テーマ：世界の食料事情を考えよう 世界の食料需給に影響をあたえる要因
④ 6月23日	講義③	講義テーマ：日本の食料事情を考えよう わが国の食料自給率 38%
⑤ 7月14日	講義④	講義テーマ：フードロスと新しい食料生産技術を考えよう 食品廃棄とタンパク質危機
⑥ 7月28日	講義⑤	講義テーマ：食料供給を持続可能にするための課題を考えよう 各自行いたいことを発表しグループ決めを行う（個人研究も可）
⑦ 9月8日	研究・学習①	個人研究・グループ研究 グループ（個人）毎に研究テーマを発表/今後のスケジュール確認
⑧ 10月6日	研究・学習②	個人研究・グループ研究 研究の進捗状況をグループ（個人）毎に発表、問題点等の洗い出し
⑨ 10月27日	研究・学習③	個人研究・グループ研究 研究の進捗状況をグループ（個人）毎に発表、卒業レポートの書き方の確認
⑩ 11月17日	研究・学習④	個人研究・グループ研究 発表会レジュメ下原稿の検討、相互に意見交換
⑪ 12月15日	研究・学習⑤	個人研究・グループ研究 発表会レジュメ提出
⑫ 1月19日	リハーサル	卒業研究発表会の練習 卒業研究発表会のリハーサルと補足講義
⑬ 1月26日	卒業研究発表会	「卒業研究発表会」 グループごとの成果発表と講師による講評・卒業レポート提出

※やむを得ない事情等により、予定表の日程・内容の一部を変更することがあります。

令和7年度 板橋グリーンカレッジ大学院

健康福祉コース 年間予定表

1 テーマ:

「生涯発達心理学から考える人生100年時代」

現代は、人生100年時代と言われ、生まれてから亡くなるまで、非常に長い生涯を歩む時代になっています。本テーマでは、人は、獲得(成長)と喪失(衰退)を混在させながら発達的な変化をし続けていくという「生涯発達」について、心理学的な視点にもとづきながら紹介していきます。具体的には、生涯発達をいくつかの時期に区分し、それぞれの時期の心理的特徴、他者と関わりながら認知や思考といった心の機能をどのように育み、適応していくかについて取りあげていきます。

2 日時:

原則として、各回 金曜日 10時から11時30分 まで

※最終回 10時から12時まで

3 場所:

グリーンカレッジホール(志村3-32-6)3階 教室2 ほか

4 講師:

淑徳大学人文学部人間科学科 助教 ^{たなか}田中 ^{もと基}元基 先生

5 日程・内容

① 5月9日	オリエンテーション	オリエンテーション 全体の説明／受講者全員の自己紹介
② 5月23日	講義①	講義テーマ:「生涯発達」という考え方の概要
③ 6月6日	講義②	講義テーマ:乳児期から児童期までの心理的発達の特徴と関わり方
④ 6月20日	講義③	講義テーマ:青年期から成人期までの心理的発達の特徴と関わり方
⑤ 7月4日	講義④	講義テーマ:壮年期から高齢期までの心理的発達の特徴と関わり方
⑥ 7月18日	講義⑤	講義テーマ:「生涯発達」という考え方まとめと重要性 グループ決め(個人研究も可)
⑦ 9月12日	研究・学習①	個人研究・グループ研究
⑧ 9月26日	研究・学習②	個人研究・グループ研究
⑨ 10月10日	研究・学習③	個人研究・グループ研究
⑩ 11月14日	研究・学習④	個人研究・グループ研究
⑪ 12月19日	研究・学習⑤	個人研究・グループ研究 発表会レジュメ提出
⑫ 1月16日	リハーサル	卒業研究発表会の練習 卒業研究発表会のリハーサルと補足講義
⑬ 1月30日	卒業研究発表会	「卒業研究発表会」 グループごとの成果発表と講師による講評・卒業レポート提出

※やむを得ない事情等により、予定表の日程・内容の一部を変更することがあります。